



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

人はなぜ、学ばなければならないのか

校長 永浜 裕之

「地球上で一番、繁栄している生物は、何でしょうか」。答えは、私たち人間です。では人間は、何故こんなにも繁栄することができたのでしょうか。

普通は、「人間は、〇〇が優れているから繁栄したのだ」と考えると思いますが、「人間は生物として劣っていたから繁栄した」という考えもあります。

はるか昔、生物の中に、成熟が極端に遅い、つまり、子ども時代がとりわけ長い「アフリカ類人猿」が現れました。普通に考えれば、不利な存在です。たとえば、アフリカの草原で生まれたばかりのシマウマは、すぐに立ち上がり、自分の足で歩きだします。そうしなければ、弱肉強食の自然の中で生きていけないからです。

翻って人間の赤ちゃんはどうでしょう。ハイハイをするのにも何カ月もかかります。親や周囲の人間が保護しなければ、一人で生きていくことはできず、厳しい自然の中で親から見放されたら死んでしまいます。しかし、未熟な状態で生まれてくる「アフリカ類人猿」がヒトに進化し、地球上でもっとも繁栄するようになりました。

人間が繁栄した理由は、「未熟であるが故に、親や周囲の人間が保護して、様々な事を教え伝える必要があったから」です。ここに人類を特徴づける「教育」という営みが発生しました。

自分の足で歩けるようになってからも、人間は長い子供時代を過ごします。他の動物のように、食料を調達したり、縄張りを守ったり、そんな問題に悩まされず、遊び回ったり、けんかをしたり、好奇心にしたがっている探ったり、大人になるための訓練をする、たっぷりの時間が与えられます。

それがまさに今、皆さんが生きている「子供時代・学生時代」です。

長い「子供時代」は、人間だけに与えられた重要な時間であり、その中で「世界の成り立ち」や「自分の存在意義」などという問いを発し、教育が行われ、人類の発展につながってきました。

そのために、学校という場が作られました。教科書を使い、人類がたどってきた道を、人類が作り出してきた文化や伝統を学んでいきます。ただ単に、知識を覚えるだけではなく、学校生活をとおして、試し、経験し、悩み、喜び、考えて、ようやく一人前の人間になっていくのです。

勉強することによるメリットをお話しします。

まず、勉強する際の、様々な「頭の使い方」がメリットをもたらします。たとえば、数学の因数分解。因数分解では、 $a^2 - a$ を $a(a-1)$ のような形に分解しますが、この考え方は、世の中の様々な現象が、いくつかの問題に分解できて、その掛け合わせで起っているというように応用できることになります。また、理科の実験は『多分こうじゃないか（仮説）と考え、それが本当にそうか実験して試す（検証）』という順序で行います。この考え方は社会に出て働くようになれば当たり前になることです。

「勉強とは、暗記することだ」と思っている人が多いと思います。もちろん、知識として覚えることも必要ですが、学習することの意味はもっと深いところにあります。様々な勉強をすることで、人として生きる力が身についてきます。それこそが勉強です。だから、皆さんは勉強しなければならないのです。皆さんには、大人になるためのステップとなる猶予期間が与えられているわけです。しつこいですが、子どもは勉強する権利があり、また、勉強する義務もあると思います。学校で学ぶのだということを深く決心するとともに、ぜひ、学ぶ喜び、分かる楽しさも知ってほしいと思います。

もう一つ、人間と動物の違いという話から、皆さんにお願いを申し上げます。

人間と動物の違いをあげるとすれば、その「生き方」です。動物の生きる上での目標は、「生命維持」と「種の保存」です。したがって、生命を維持できる環境さえあればよいことになります。人間が人間らしく生きていくには、それだけでは足りません。人間は「夢」をもち、「目標」を追い続けます。

自分自身の夢や目標は何か、何に価値を見出すのか、自分自身と向き合い、しっかりと考えてほしいと思います。高校生活の3年間は、長い人生においても、大きな意味のある時代です。未来の自分を夢見て将来像を描く光り輝く時間の中に、皆さんは生きています。充実した高校生活になるよう、意識して生活していきましょう。

サーモグラフィーカメラを用いた入校時の簡易体温確認

定時制保健部

本校では体温確認のためにサーモグラフィーカメラの運用を開始いたしました。学校における新型コロナウイルス感染症予防にご協力をお願いいたします。

サーモグラフィーカメラシステムの概要

- ・自動で顔を認識し、表面温度を測定します。エントランス正面のディスプレイに、カメラで撮影した画像が映し出され、顔の表面温度が頭上に表示されます。

※測定される温度は表面温度なので、体温計で測った体温とは異なります。

- ・設定された温度以上（現在は37°C）を感知すると、
 - ①顔検知枠と体温表示が赤くなります。
 - ②カメラから音声で「タイオン イジョウ」と音声流れます。

入校時体温確認のお願い

【基本】 登校前に自宅で体温を測定し、健康観察票に体温や諸症状を記入する。

- ①入校時は、案内表示にしたがいエントランスへと進んでください。
- ②案内導線の途中に設置してある消毒液を用いて、手指消毒を行ってください。
- ③サーモグラフィーカメラの正面に表示してある「測定エリア」で静止して、エントランス正面のディスプレイに表示された温度を確認してください。
- ④-A 表示温度が37°C未満だった場合は、生徒は活動場所へ向かい、担当教員に健康観察票を見せてください。来校者の方は経営企画室窓口へお越しください。
- ④-B 表示温度が37°C以上だった場合は1階左奥に設置した第2保健室へ向かい、養護教諭による健康観察（体調の確認・検温等）を受けてください。

校内各所の消毒・換気等の新型コロナウイルス感染症予防にも、引き続きご協力をお願いいたします。



コロナ禍における通信制課程スクーリングの実施状況

通信制教務主任 大土一樹

5月30日の新入生オリエンテーションを経て、通信制では、6月6日からガイドラインに沿って段階的にスクーリングを開始することになりました。単位制という環境下で1教室20名という制限を厳守するため、QRコード読み取り式による「電子予約システム」の導入に踏み切りました。インターネット環境がない生徒向けには、電話申請枠で対応してきました。7月以降は、体育のみ電子予約システムを継続します。この件については、6月26日付でご案内を発送しますので、HPもあわせて確認してください。

6月中旬には、検温用のサーモグラフィも導入され、現在「健康管理票」とのダブルチェックで生徒の健康状態を把握しています。本校には、校長を委員長とする新型コロナウイルス感染拡大防止PTがあり、定時制・通信制合同で生徒にとって安心安全な教育環境を提供できるように努めています。

◆教室に行く前の健康チェック



◆6月の体育実技

